



本マップは東温市、東温市観光物産協会、愛媛大学法文学部人文学科観光まちづくりコース（観光文化系）が連携して制作しました。制作にあたり、地域に学ぶ「Toon City Tourism Study Workshop」を開催し、1年間かけて成果をまとめました。Study Workshopでは、東温市の地域資源についてディスカッションし、現地での調査をもとにマップを作成しました。この木の葉は、今回参加者が見つけた東温市の魅力ある資源ひとつひとつを指しています。みんなの手で守り大切に育てていきたいと思っています。

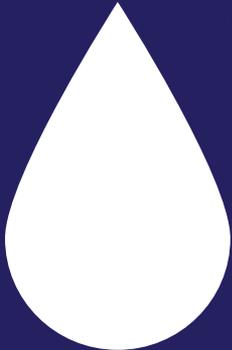
本マップは、東温市観光物産協会「東温版エコツーリズム・エコミュージアム実現事業」経費、愛媛大学 法文学部人文学科演習・実践授業実施経費を使用いたしました。



東温市 にしだに MAP



みずと
棚田のさと



2013.02 2014.09増刷

本マップは、現地調査を行った当時のスタッフの思いや感じたことを生かすため、現在は変わった景観なども当時のままで紹介しております。

Toon City Map in Nishidani

東温市 西谷地区

おだやかな時間が流れる里。西谷は、井内川の渓谷沿いに広がる地域で、東温市のおいしい水と緑あふれる澄んだ空気が生まれる集落の一つです。日本の原風景に触れることができる里山は、おばあちゃんが話してくれた昔話に出てくるような、柔らかなで温かい、どこか神秘的な雰囲気にも包まれています。

西谷は、久万高原町と松山市を繋ぐ街道として栄えてきました。その峠道にはかつて屋根材として用いられていた茅が地域の人々によって生産されていました。この茅山からたたくさんの茅葺家屋が生まれました。今でも茅山が残り西谷地区に位置する井内では一軒の茅葺屋根を見ることが出来ます。



重要な拠点であったことが伺えます。今でも城跡への道が残されており、地域の人々が長い時間をかけてこの道を整備し守ってきました。地域の歴史を重んじ、地域を誇りに思う西谷の人々の姿勢が感じられます。戒能氏の作り上げた出城と、地域の人々が守ってきた道。一步一步歴史を踏みしめながら登ることが出来ます。

井内川の谷筋には、急な傾斜とゴツゴツとした岩肌が見られ、川の流れに変化をもたらします。特に井内は米とシキミの生産が盛んな地域です。米を育てるための棚田は、西谷の険しい起伏を活かした美しい曲線を描き、季節ごとに西谷を彩ります。秋には、松山市内の寿司職人に愛用されるような、質の高い米が収穫されます。またシキミは、西谷の急な斜面にしっかりと根をはって育つ植物で、お供え物として愛媛県内全域で用いられます。これらは西谷の暮らしを支える重要な産業であると同時に、西谷の風景を彩る地域の資源とも言えます。山里の美しい景色は、井内川や広大な谷に広がる自然と里に築かれた住人の暮らしによって成り立っています。

井内川に沿って谷の起伏を歩けば、西谷に暮らす人々の穏やかな暮らしが広がっています。暮らしの中を巡れば、里山のまったりとした時間に癒されます。市街地とは異なる自然と時間の流れ、それぞれが織りなす里山文化、日本の故郷に会いに行きましょう。



▲西谷の里を象徴する茅葺のぼたん茶屋
この屋根も西谷の茅山を利用しています



谷に広がる棚田

登るほど、癒される里。



週末、足をのばして西谷へ行こう ～写真に刻む、里山のココロ～

NISITANI
PHOTO

西谷は「山が折り重なる谷に築かれた秘境」です。国道 11 号線沿いを車で走らせ、山に向かって県道 210 号線を上ると西谷に着きます。標高約400mの地にある6つの集落からは、西谷の自然と里山に暮らす人々の生活が織りなす美しい景観が広がります。週末はカメラを片手に、先人が築きあげた「里山のココロ」を写真に刻みに行きましょう！

西谷エリア map

黒岩 Kuroiwa



起伏の激しい黒岩は、その傾斜を活かした人々の知恵に溢れています。この地域特有の石垣の積み方やあぜ、水路の形に注目してみましょう。畦につるされた袋には、動物の苦手なヒトデの粉末が入っていて、稲を獣害から守ります。登りきると、黒岩と仲屋を一望することができます。

中野 Nakano



中野には薬師堂というお堂があります。ここでは「お水神様」が行われ、お水神さんにお参りをした後、みんなでお茶を楽しみ交流を深めます。薬師堂からは、眼下に広がる棚田や農家がありなすカラフルなトタン屋根が見え、まるで中野の農業と暮らしを見渡す「里の展望台」のようです。

吉井神社には子持ちの狛犬がいるよ！



北間 Kitahaza



なかいの
どぶろく美味しいよ！

北間では谷の豊かな水で育てた米を原料としたどぶろくがつくれ、数少ない茅葺き屋根を見ることが出来ます。また、この地区の家屋には茅葺き屋根の上からトタンを張ったものが多く見受けられます。昔ながらの里の雰囲気や、集落の人たちの暮らしぶりを体感することができるでしょう。

仲屋 Nakaya



小さな棚田に囲まれたつづら折りの道。標高の高い場所にも人の営みがみられ、谷間に息づく文化を所々で感じることができます。仲屋からは他の集落も見渡すことができ、谷筋に暮らす人々の知恵と、それを支える西谷の雄大な自然の力を感じられます。標高400mの里文化を全身で感じましょう！

成 Naru



成にある善城寺は、昔からこの地の人々の拠り所、境内には大きな六地藏や石碑があります。愛媛県では、「成・なる」という地名は川沿いの傾斜地に開けた土地をさし、この地にも開けた土地に様々な時代に作られた石垣や美しい竹やぶや、従来使用されていた鐘などがあります。このような成の風景からは、人々の歴史を垣間見ることができます。

大平 Ôhira

六地藏は西谷地区の色々な場所で見られるよ



大平は6つの集落の中で最も高い海拔500mに位置しているため、向かいの集落を見下ろすことができます。今までとは違う風景がここにあります。また、大平は山の頂上が間近にせまり、西谷の渓谷と里の高低差を視覚で感じることができます。このように自然環境の厳しい中で人々が築いた棚田と里をご覧ください。

Let's enjoy in Nishidani!

西谷地区は県道210号線沿いにある集落です。狭い谷筋と連なる山々が特徴であり、穏やかな風景で気持ちを落ち着かせ、あなたの好奇心を掻き立てるような謎や歴史やロマンに満ち溢れています!そんな謎について坂を登りながら説明します。西谷のあっと驚く知識を持てば、里を歩きたいこと間違いなし!スタートからゴールに向かって順番にたどっていきましょう。



Goal!

これであなかも西谷マスター!

茅葺き屋根を、地域の文化として今も受け継ぐ。西谷の人々は、里山の文化の大切な守り人です。

茅葺き屋根

仲屋の山間や北間にひっそりとたたずむ茅葺き屋根。戦前の農村では多く見られたこの家屋も、現在ではその多くがトタンの下に眠っています。今も西谷に残る茅葺き屋根では、定期的な葺き替えを行い、切りそろえられた茅葺き屋根の雄姿を間近に見ることができます。

かやぶき屋根は夏はずすしく、冬はあったかいんだよ!



6人仲良く並んだお地藏さんに遭遇! 拝んでいこう!



ゴツゴツした山...!?

石切り場

仲屋から西側を仰ぎ見ると、崖のような岩肌が見られます。これは、道路の基礎や棚田の石垣などに使われる石、かつて地域の人々が生業として切り取っていた石切り場です。石を切り崩す高所での作業は大変な仕事です。自然環境を生かした西谷ならではの歴史です。



古いお堂を発見! ちょっと一休みしよう

お堂は、農作業の合間に人々の休憩の場として使われていました。集落ごとにお堂を見つけることができます。実はトタン屋根の下に何かが隠れていることも...。答えは5個先にあります。

Start!

何があるのだろう? わくわく♪



常夜灯は集落の安全を守るために使われていました。人々が交代で灯籠に火を灯します。今でも、お祭りのときには火が灯され、地域のハレの日をほんのり明るく照らします。



人の温かさを感じるなあ...

吉井神社は西谷地区唯一の神社です。昔は子どもたちが相撲をとったり、お祭りや行事の場として使われていました。

あ!神社がある!



お寺発見! 水の音が聞こえるよ



道路や棚田のあぜにはいろいろな形の石垣があります。作られた時代によって大きさや形が違います。じっくり観察してみましょう。



シキミ

シキミとは墓や寺院に供える植物のことで、西日本で多く使われています。濃い緑の葉と細い木々からは想像できませんが、しっかり根を張る樹木なので、西谷の急傾斜地や棚田、あぜ道や林道などに多く植えられています。シキミは、西谷を代表する特産品の1つです。

西日本一の生産量。傾斜のきつい西谷だからこそシキミはよく育つのです。



イノシシ出現! さるにも出会えるかも...!?



まだまだ上へ! がんばって登るぞ~

棚田

西谷地区の棚田は、昔ながらの小さな区画の田がうろこ状のように複雑に重なり合って谷一面に広がっています。一枚として同じ形の田はなく、昔の人々が自然の傾斜を活かし、自分たちの手で作り上げてきたことがわかります。棚田のあぜにはその時代の石垣が積まれており、人々の知恵と歴史を感じることができます。

昔の人々の手作りだからこそ、自然の形のままの石を上手に組んだ棚田が見られます。人々の知恵と技術を感じましょう。



うねりがすごい!

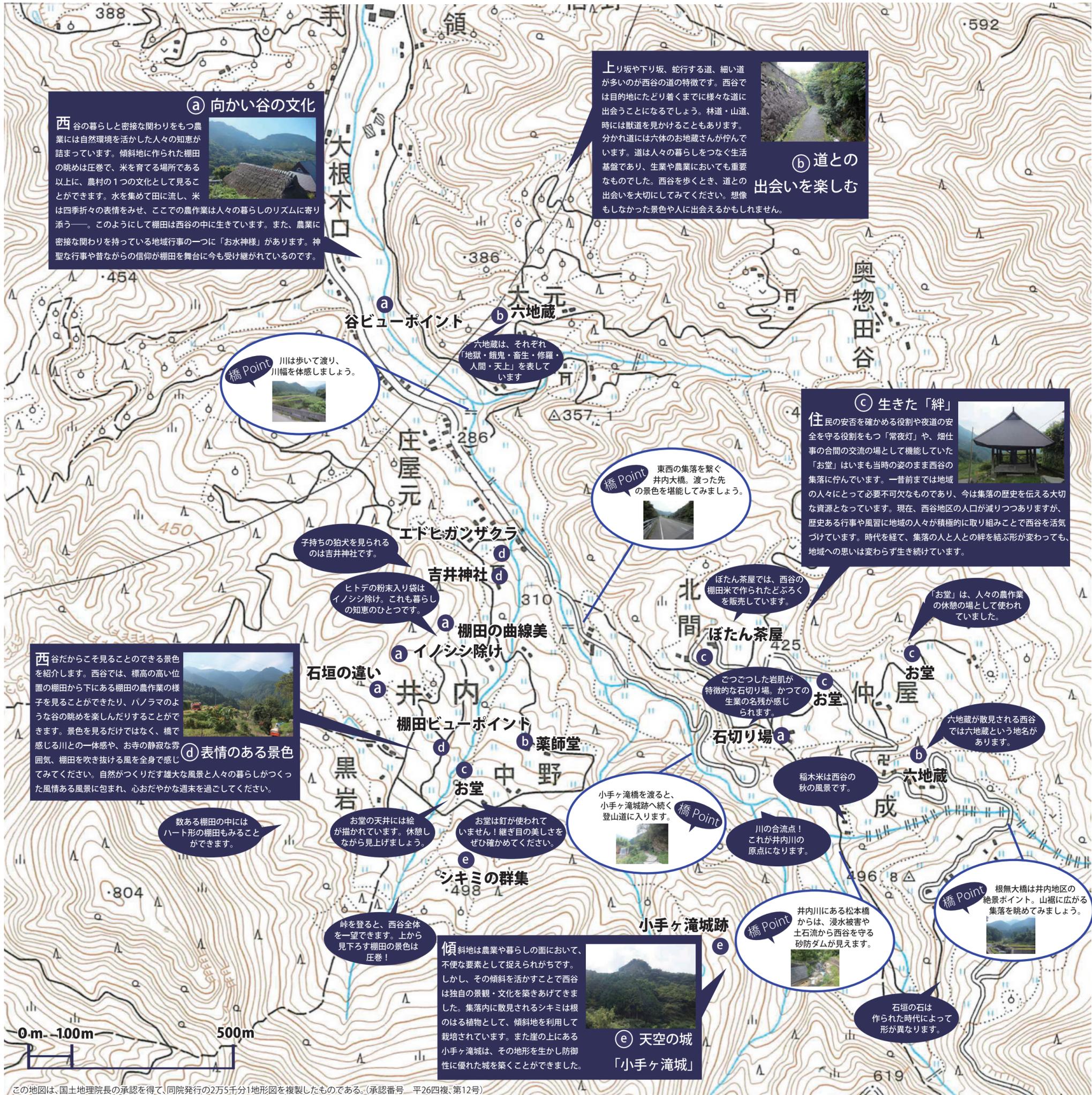
西谷MEMO

1. スニーカーで行こう
2. カメラがあると便利
3. お茶を忘れずに!



東温市 にしだに MAP

重信川の支流である井内川と共に暮らしを築いてきた山里、西谷。井内川がつくりだす溪谷沿いには集落が点在し、四季折々に色を変える棚田、シキミが広がる傾斜地、茶堂や地蔵など風情ある風景が広がります。古くから変わらない川の流れを橋から楽しみ、マップをもって峠道を歩けば、西谷の様々な魅力があなたの目と耳に飛び込んでくることでしょう。



① 向かい谷の文化
西谷の暮らしと密接な関わりをもつ農業には自然環境を活かした人々の知恵が詰まっています。傾斜地に作られた棚田の眺めは圧巻で、米を育てる場所である以上に、農村の1つの文化として見る事ができます。水を集めて田に流し、米は四季折々の表情をみせ、ここでの農作業は人々の暮らしのリズムに寄り添う。このようにして棚田は西谷の中に生きています。また、農業に密接な関わりを持っている地域行事の一つに「お水神様」があります。神聖な行事や昔ながらの信仰が棚田を舞台に今も受け継がれているのです。



② 道との出会いを楽しむ
上り坂や下り坂、蛇行する道、細い道が多いのが西谷の道の特徴です。西谷では目的地にたどり着くまでに様々な道に出会うことになるでしょう。林道・山道、時には獣道を見かけることもあります。分かれ道には六体のお地蔵さんが佇んでいます。道は人々の暮らしをつなぐ生活基盤であり、生業や農業においても重要なものでした。西谷を歩くとき、道との出会いを大切にしてみてください。想像もしなかった景色や人に出会えるかもしれません。



④ 表情のある景色
西谷だからこそ見ることで見られる景色を紹介。西谷では、標高の高い位置の棚田から下にある棚田の農作業の様子を見ることができたり、パノラマのような谷の眺めを楽しんだりすることができます。景色を見るだけではなく、橋で感じる川との一体感や、お寺の静寂な雰囲気、棚田を吹き抜ける風を全身で感じてみてください。自然がつくりだす雄大な風景と人々の暮らしが詰まった風景ある風景に包まれ、心おだやかな週末を過ごしてください。



③ 生きた「絆」
住民の安否を確かめる役割や夜道の安全を守る役割をもつ「常夜灯」や、畑仕事の合間の交流の場として機能していた「お堂」は、いまも当時の姿のまま西谷の集落に佇んでいます。一昔前までは地域の人々にとって必要不可欠なものであり、今は集落の歴史を伝える大切な資源となっています。現在、西谷地区の人口が減りつつありますが、歴史ある行事や風習に地域の人々が積極的に取り組みことで西谷を活性化しています。時代を経て、集落の人と人との絆を結ぶ形が変わっても、地域への思いは変わらず生き続けています。



⑤ 天空の城「小手ヶ滝城」
傾斜地は農業や暮らしの面において、不便な要素として捉えられがちです。しかし、その傾斜を活かすことで西谷は独自の景観・文化を築きあげてきました。集落内に散見されるシキミは根のはる植物として、傾斜地を利用して栽培されています。また崖の上にある小手ヶ滝城は、その地形を生かし防御性に優れた城を築くことができました。



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。(承認番号 平26四複、第12号)

井内川の溪谷と谷間を活かし作り上げられてきた「谷の文化」、その象徴ともいえる棚田は昔ながらの手作り石積みが多く見られます。「西谷の道」を登っていくと、まるで棚田が迫ってくるような臨場感が味わえます。また、向かい側の集落の棚田が一望できるのも、谷間の地域だからこそ。その横にあるお堂や常夜灯に目を向ければ、この地で暮らしを作ってきた「集落の歴史と絆」が垣間見られるでしょう。そんな「表情のある景色」を楽しみながら散歩すれば、崖上の「天空の城」など、不思議な歴史スポットに出会うかもしれません。このマップは、西谷を5つのテーマから紹介しています。紹介スポット1つ1つの謎や歴史を探りながら、井内川にそって西谷の里を登ってみましょう。5つのテーマが1つに結びついたとき、西谷の一番の魅力が見えてくることでしょう。

週末に訪れたい 谷間の集落